

研究課題名	中程度から高程度の病理学的悪性度を有する肺腺癌切除例におけるEGFR 変異, K-RAS 変異, ALK 転座, PD-L1 蛋白発現の再発予測・予後因子としての意義
研究期間	実施許可日 ~ 2025 年 3 月 31 日
研究の対象	1997 年 1 月から 2020 年 12 月の間に広島大学病院呼吸器外科で、もしくは 2017 年 1 月から 2020 年 12 月の間に近畿大学病院で原発性肺癌に対して手術による治療を受けられた患者さん。
研究の目的・方法	研究目的：今回の研究では、薬剤選択や効果予測に関連する遺伝子異常や蛋白質発現を調べ、どのような肺癌で手術だけでなくその後に追加の化学療法が望ましいか、その場合にはどのような肺癌で効きやすいかの予測の手助けになる結果が得られると見込んでいます。 研究の方法：診療録（カルテ）情報と手術で切除された標本を調査に用います。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、手術の種類、腫瘍の部位、喫煙歴、病期、顕微鏡検査での腫瘍の特徴、検討対象となる遺伝子形態の有無等、再発の有無、生存期間、E-2735 及び E2009-9938 で得られた遺伝子発現の結果 試料：手術で摘出した組織
外部への試料・情報の提供	近畿大学への情報提供は、パスワード設定されたメールを送付することで行います。また試料は近畿大学へ個人情報を匿名化した状態で送付します。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日
個人情報の保護	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 具体的には、各施設にて試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないよう加工します。個人と連結させるための対応表は、各施設の研究責任者にて保管・管理します。
研究組織	本学の研究責任者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人

	<p>研究機関の長 広島大学理事 田中 純子</p> <p>研究代表者 原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人</p> <p>共同研究機関 近畿大学病院 外科学教室 呼吸器外科部門 伊藤 正興</p>
<p>その他</p>	<p>この研究のために集めた試料・情報は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを「二次利用」といいます。二次利用の際には、あらためて倫理審査委員会にて審査し承認後、研究機関の長より許可を得たのち使用します。</p> <p>将来の研究に使用した場合は、その研究に関する情報を現在ご覧いただいているHP (人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開) <a href="https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx">https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx</a> にて開示し、データ使用の拒否権を行使できるようにします。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としないので下記の連絡先までお申し出ください。なお、お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5476(外科外来) 広島大学病院呼吸器外科 呼吸器外科 宮田 義浩</p> <p>589-8511 大阪府大阪狭山市大野東 377-2</p>

	T e l : 072-366-0221
--	----------------------

	近畿大学病院 外科学教室 呼吸器外科部門 伊藤 正興
--	----------------------------